

3

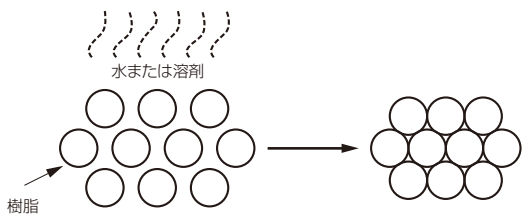
接着剤の種類と分類

2 固化の仕方による分類

固化の仕方によって次の4つに分けられます。

① 乾燥固化型

接着剤に含まれる水や溶剤が蒸発し、固まるものをいいます。

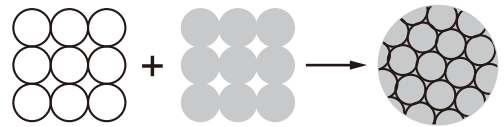


乾燥固化型

- 水性形—エマルジョン形 (ラテックス形) — (代表的製品名) 木工用、CHシリーズ、手芸用、B、CF系
- 溶剤形 — G10Z(170mlは「G10」)、G17Z(170mlは「G17」)、K10、K120

② 化学反応型

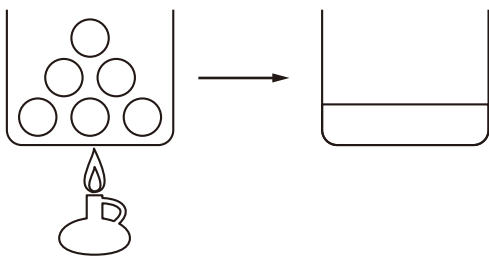
主剤と硬化剤を混合接触させ、化学反応で固化するもの、または、1液であっても空気中や被着材中の湿気と反応して固化、逆に空気を遮断すると硬化、あるいは紫外線で固化するものもあります。



(代表的製品名)
Eセット、クイック5、E200、サイレックス100、アロンアルファ、ネジやま救助隊ゆるみ止め、ウルトラ多用途S・Uシリーズ

③ 熱溶融型

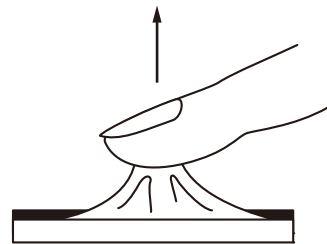
常温では固形ですが、熱を加えることによって液状になり、放冷することによって固着するものをいいます。



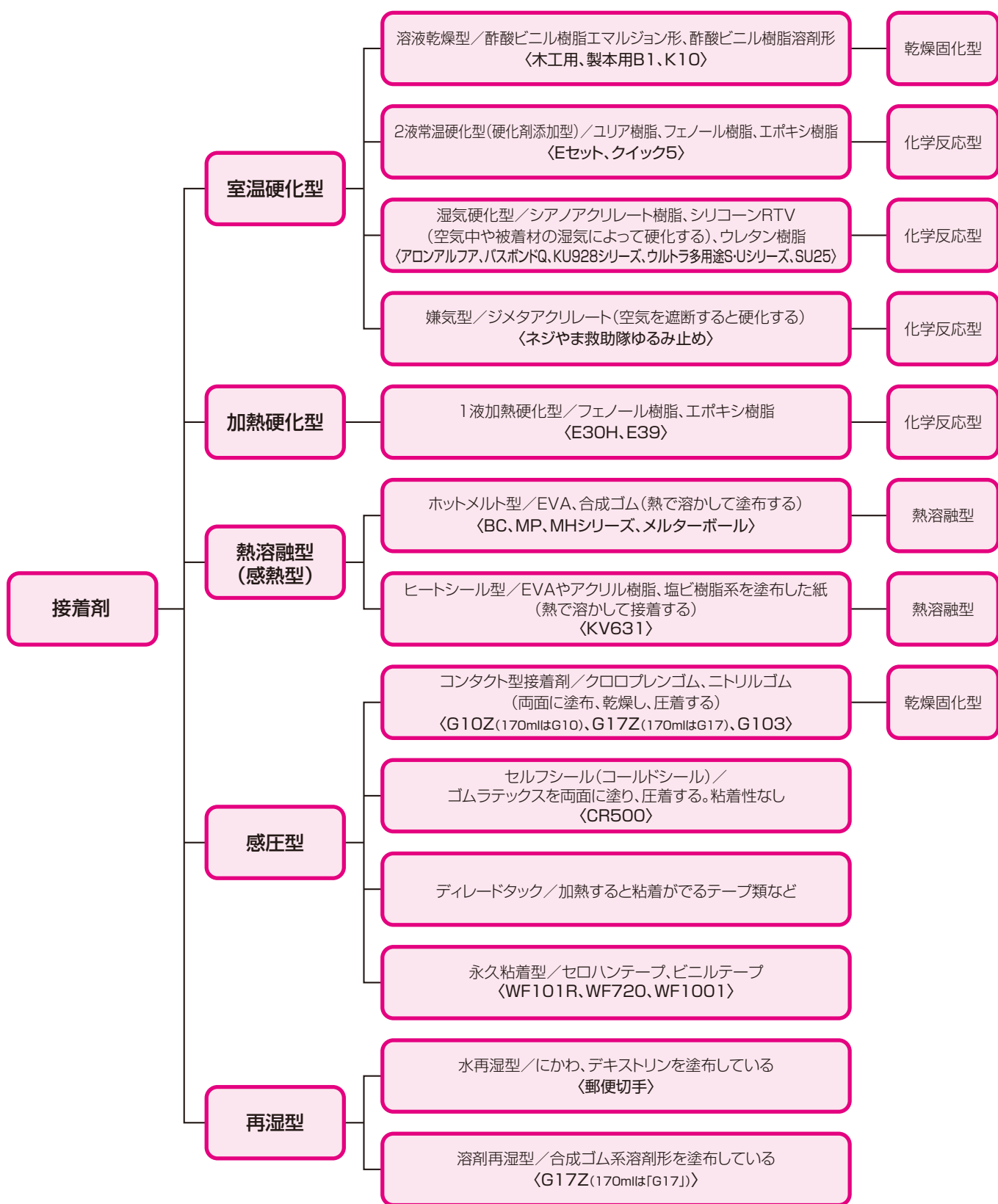
(代表的製品名)
BC、MP、MHシリーズ、メルターボール

④ 感圧型

いつまでも固化せず、粘着性を保持しているものをいいます。液状のまま使用することもあります。一般的には粘着テープに加工して使用します。



(代表的製品名)
WF720、WF1001



1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11